

様式第4号 (第20条関係) (表)

年 月 日

消防署長 様

申告者 住 所
職業・氏名
電話番号

車両・船舶・航空機り災申告書

| | | | | |
|-------------|------------|--------------------|--------------|-------------|
| 1 | り災年月日 | 年 月 日 | り災物件と申告者との関係 | 所有者・管理者・占有者 |
| | り災場所 | | | |
| 2 車 両 | 運転者氏名 | | 購入年月 | |
| | 用途別 | | 購入金額 | |
| | 車両番号 | | 年 式 | |
| | 焼けた箇所 | 消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所 | | その他 |
| | | | | |
| 3 船舶・航空機 | 船長・機長名 | | 船名・機名 | |
| | 用途・機種 | | 就航年月 | |
| | トン数・最大離陸重量 | | 購入金額 | |
| | 焼けた箇所 | 消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所 | | その他 |
| | | | | |
| 4 積載物 | 焼けた箇所 | 消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所 | | その他 |
| | | | | |
| | り災物件との関係 | 所有者・管理者名 | | |
| 5 | 火災保険契約会社名 | | 保険金額 | |

様式第4号（第20条関係）（裏）

車両・船舶・航空機り災申告書記載要領

（1の欄）

- 1 り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 り災した場所の欄は、車両などが火災になった場所を記入してください。

（2の欄）

- 1 用途別の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客席などの別を記入してください。
- 2 車両番号の欄は、陸運局に届け出ている車両登録番号などを記入してください。

（3の欄）

用途・機種別の欄には、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記入してください。

（4の欄）

積載物の欄には、損害を受けた物を品名と時価に見積った損害額を記入し、また、申告者と積載物の所有者等が異なる場合にのみ氏名を記入してください。

（5の欄）

車両等の火災保険に加入している場合にのみ記入してください。

備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づき提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 3 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 4 この申告書でわからないことがありましたら、消防署までご連絡ください。